

## 社会

## ➡ 6年生 | 「明治維新をつくりあげた人々」

## 古地図を比べ、明治維新による人々の生活の変化をとらえる

## 1. 地図から人々の生活を読む

地図は人々の生活を表したもので、地形、土地利用、産業等が記されている。それゆえ、地図をたどっていけばその時代の地域の人々のくらしがわかる。

そこで、明治維新により地域の人々の生活がどう変化したか、江戸幕末と明治初期の地図を比べさせ、具体的にとらえさせようと考えた。

## 2. 江戸切絵図「駒込絵図」安政4(1857)年



江戸末期に作られた切絵図を子どもたちに見せると、カラフルなことに驚いていた。古地図は玄関の向きに字が書いてあることを教え、まず自分なりに読み取らせた。今も残る寺社の位置から、自分たちの学校は一橋家の中屋敷であったこと、名前が書かれてあることから武家屋敷が周りにあったことに気付くことができた。

## 3. 「東京大絵図」明治4(1871)年

同じ場所の明治4年の地図を読ませた。すると、

一橋家の場所には「元一橋家」と書かれている。周りの大きな大名屋敷にも「元」と書かれている。また、「桑茶ハタ」という文字に気づくことができた。

## 4. 明治維新による生活の変化を考える

二つの地図を比べさせ、なぜ「元」と書かれているのか、なぜ「桑茶ハタ」に変わったのかを考えさせ、次のことをとらえさせた。

- ・幕府がつぶれ、大名屋敷は召し上げられた。
- ・このまちに住んでいた旗本や御家人たちは、徳川家と共に静岡に行くか、失業するか選択をせまられた。
- ・ここにどまった武士たちは、商売を始めたり、明治政府が勧めた桑や茶を作ったりした。

## 5. 当時の写真を提示する

地図と一緒に写真を提示すると、子どもたちは時代の変化を理解しやすい。江戸末期、フェリックス・ベアトをはじめ、外国人が当時の様子を撮影している。ここでは『写真で見る江戸東京』（新潮社）、『幕末・明治のおもしろ写真』（平凡社）をもとに地域の写真を選択した。

## 6. 歴史を具体的にとらえるために

「明化」という校名は「文明開化」に因る。そこで、地域の人々はなぜ学校設立を願ったのかについても考えさせた。

- ・めざましく変わっていく時代に、自分の子どもたちが置いていかれないようにするため。
- ・子どもたちをたくましくして、文明開化した日本を強い国にしてもらいたかったから。

子どもたちは、明治維新前後の地域の地図の比較を通して、人々の生活の変化を具体的に理解し、文明開化に因る母校への愛着も深めることができた。